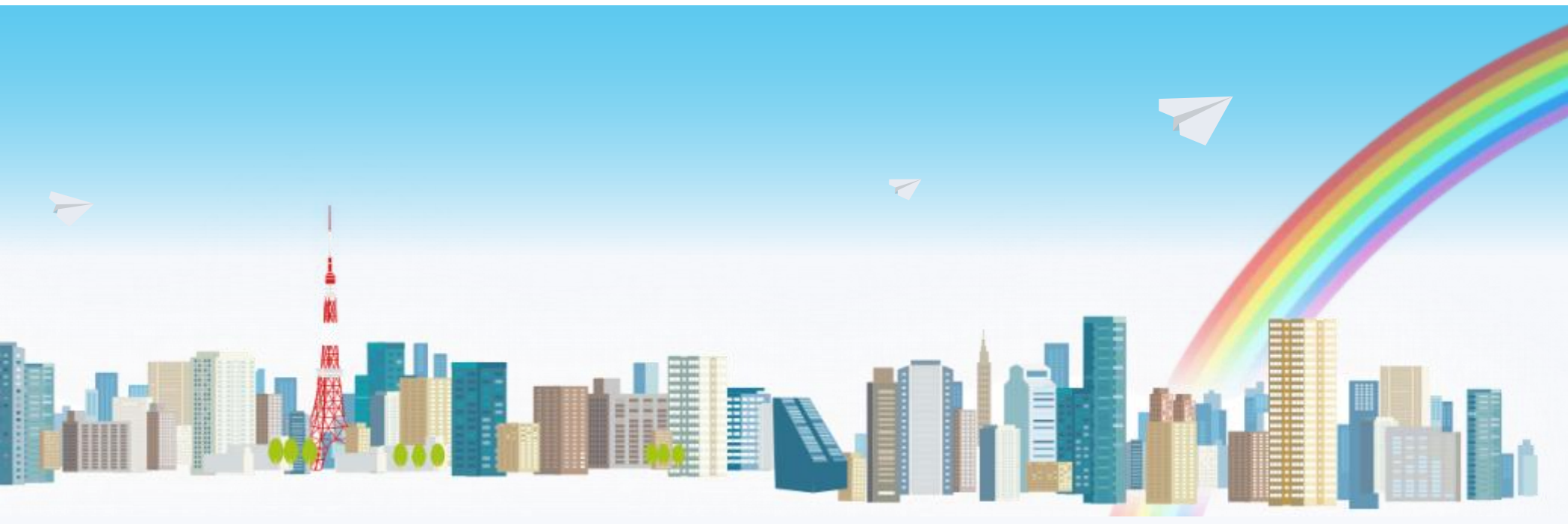


2025年7月14日



2025年11月期 第2四半期 決算説明資料

AHCグループ株式会社
証券コード：7083



1	2025年11月期 第2四半期実績	3P
2	2025年11月期 通期業績予想	14P
3	2025年11月期 主要取組事項	20P
4	補足資料（会社・事業概要）	25P



1	2025年11月期 第2四半期実績		3P
2	2025年11月期 通期業績予想		14P
3	2025年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		25P



- 既存事業所・前期開設事業所の売上高が伸びたほか、パパゲノを子会社化したことにより、売上高は前年同期比161百万円増の3,258百万円となったものの、新規事業所の開設費用などにより営業利益は前年同期比50百万円減の22百万円、経常利益は助成金の減少などにより前年同期比59百万円減の38百万円となった

(単位：百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12～2024/05)		2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,096	100.0%	3,258	100.0%	161	5.2%
売上原価	2,769	89.4%	2,929	89.9%	159	5.8%
売上総利益	327	10.6%	328	10.1%	1	0.4%
販売費及び一般管理費	254	8.2%	306	9.4%	51	20.2%
営業利益	72	2.3%	22	0.7%	△50	△69.1%
経常利益	97	3.2%	38	1.2%	△59	△60.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	52	1.7%	14	0.4%	△38	△73.4%

※2025年11月期より表示方法の変更を行ったため、過年度においても当該変更を反映させるための組替を行っております。



- 売上高・営業利益は介護事業では未達となったものの、福祉・外食事業では予想を達成した
- 経常利益は物価高騰に対する助成金などがあり、予想を上回った

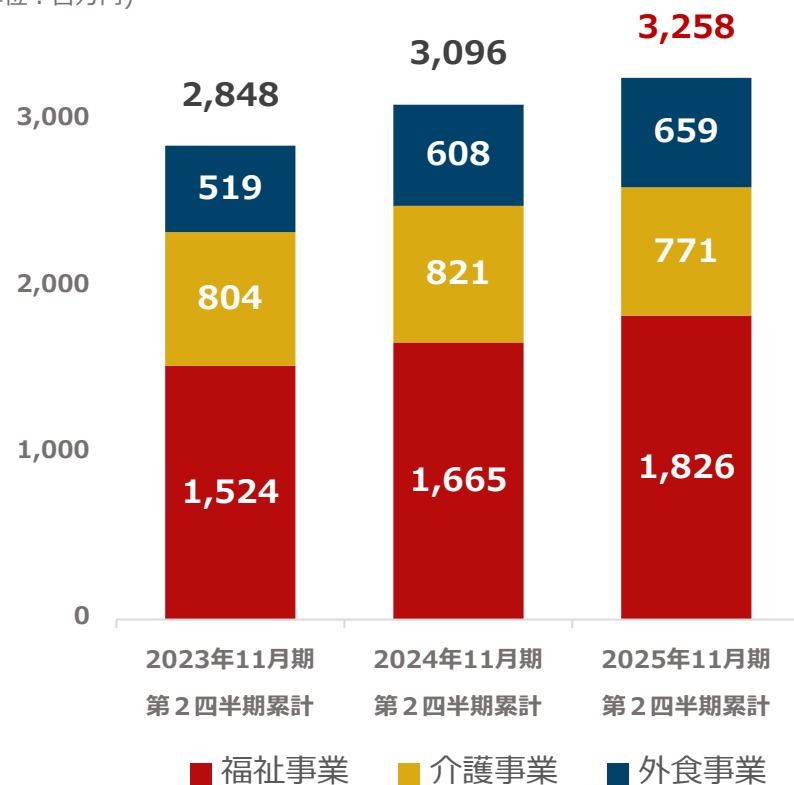
(単位：百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計 予想 (2024/12～2025/05)		2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,195	100.0%	3,258	100.0%	62	2.0%
営業利益	16	0.5%	22	0.7%	6	39.3%
経常利益	13	0.4%	38	1.2%	25	197.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△2	△0.1%	14	0.4%	16	—

- 売上高は福祉事業・外食事業で大きく伸ばすことができた
- 経常利益は前期比では減少したものの新規開設の費用を見込んでおり想定内の推移となった

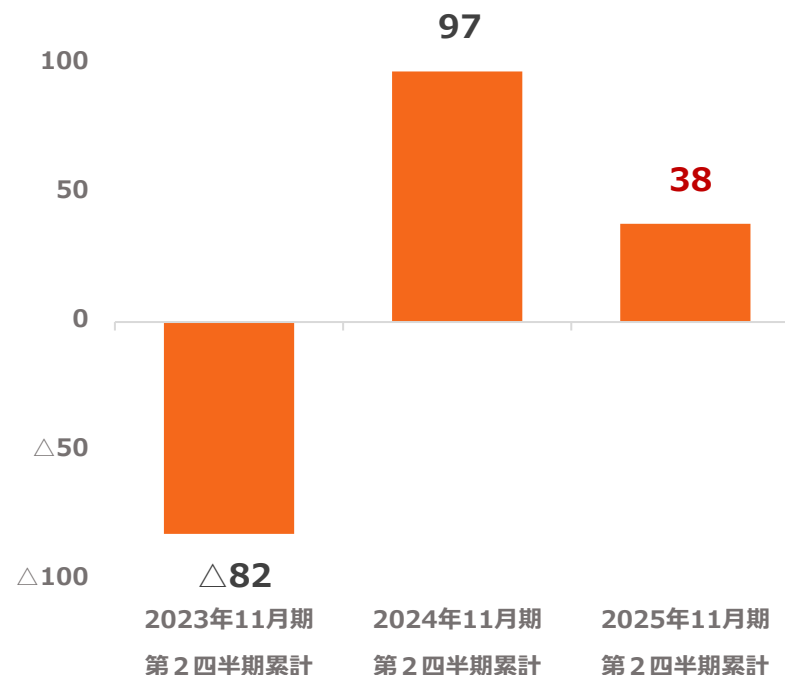
売上高の推移

(単位：百万円)

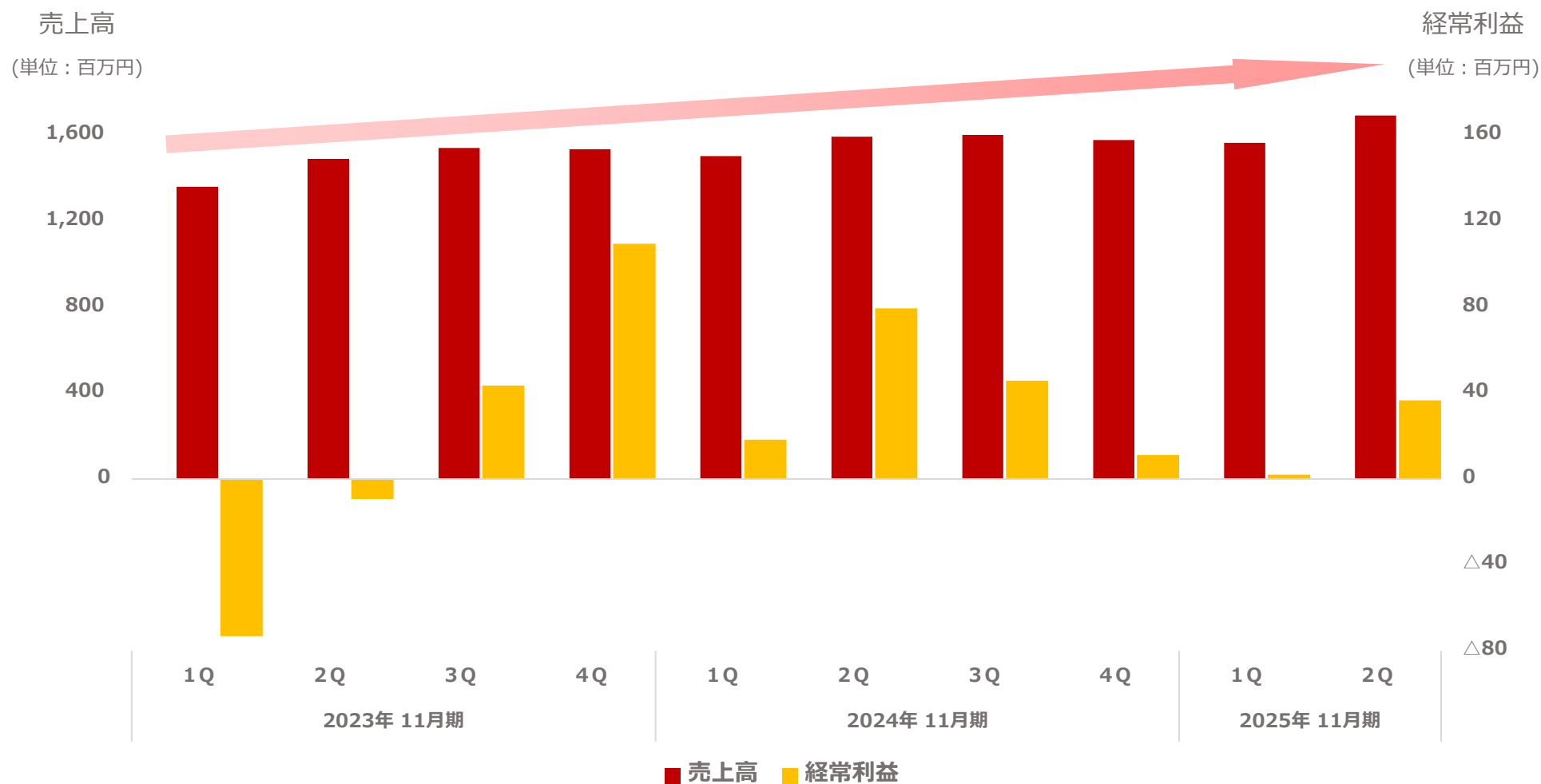


経常利益の推移

(単位：百万円)



■ 売上高は対前期四半期において順調に推移しており、経常利益についても黒字を維持した

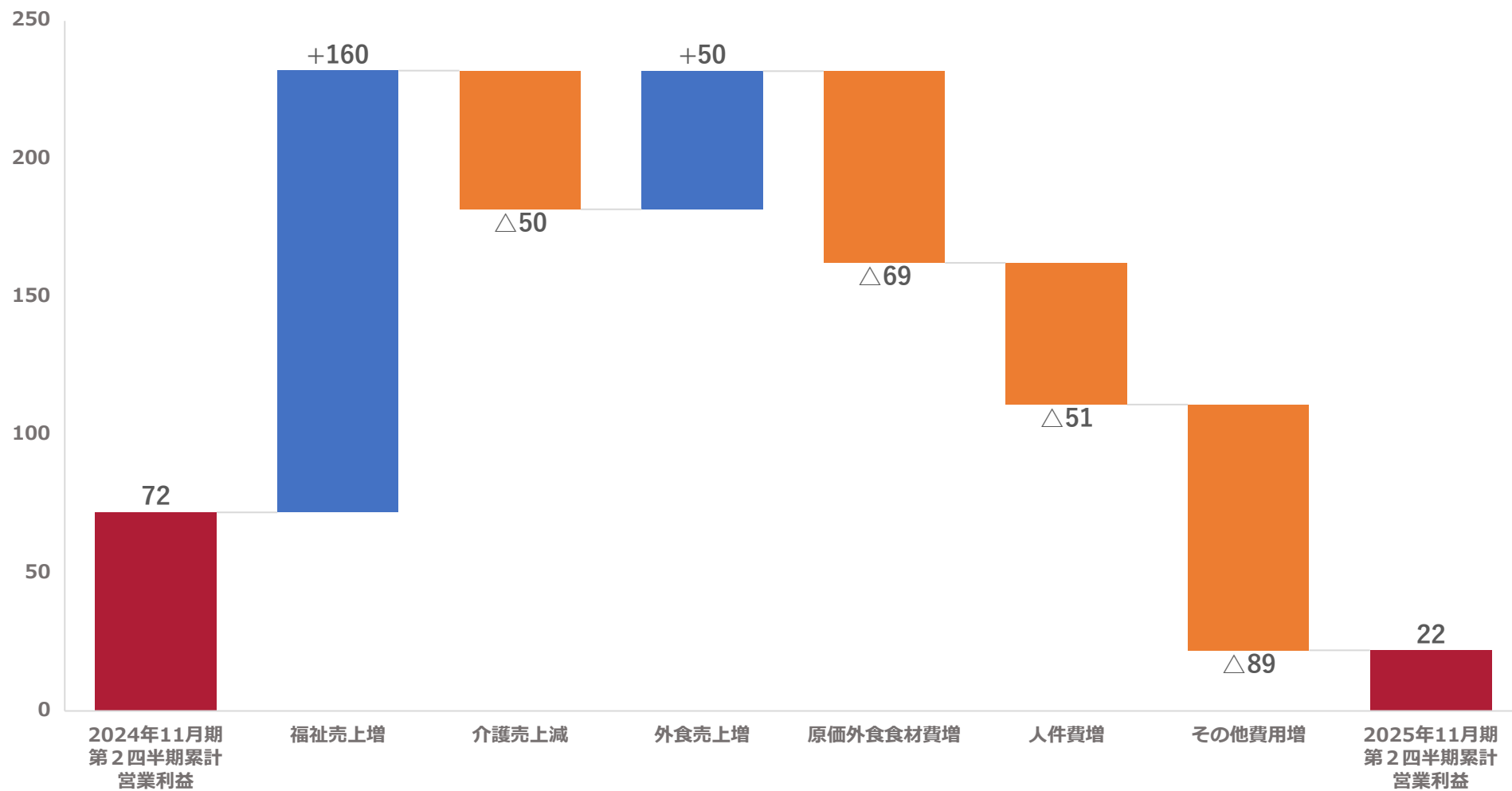


- 売上原価は物価の高騰による外食食材費の上昇、新規開設費用などにより159百万円(0.5ポイント)増加、販売費及び一般管理費は人件費など51百万円(1.2ポイント)の増加となった

(単位：百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12～2024/05)		2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,096	100.0%	3,258	100.0%	161	5.2%
売上原価	2,769	89.4%	2,929	89.9%	159	5.8%
(人件費)	1,332	43.0%	1,379	42.3%	46	3.5%
(原価外食食材費)	303	9.8%	373	11.5%	69	23.0%
(地代家賃)	286	9.2%	292	9.0%	6	2.3%
(その他)	847	27.4%	883	27.1%	36	4.3%
販売費及び一般管理費	254	8.2%	306	9.4%	51	20.2%
(人件費)	44	1.4%	49	1.5%	5	11.4%
(のれん償却)	16	0.5%	24	0.7%	7	46.5%
(その他)	193	6.3%	232	7.1%	38	20.0%
営業利益	72	2.3%	22	0.7%	△50	△69.1%

(単位：百万円)



- 福祉事業は前期開設事業所の順調な立ち上がり、子会社化したパパゲーノ、既存事業所の稼働が向上し、売上高は前年同期比・予想比ともに上回った
- 介護事業は閉鎖した事業所の影響により前年同期比・予想比ともに未達となった
- 外食事業は物価の高騰などにより前年同期比の営業利益には届かなかったものの、加工・物流事業で外部取引量が増加したため、売上高は前年同期比で増加し、予想も上回った

(単位：百万円)

		2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)	2025年11月期 第2四半期累計 予想 (2024/12~2025/05)	2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12~2025/05)	前年同期比 増減額	予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	1,665	1,814	1,826	160	12
	営業利益	111	94	104	△6	10
介護事業	売上高	821	789	771	△50	△18
	営業利益	△3	△3	△24	△20	△20
外食事業	売上高	608	591	659	50	68
	営業利益	49	34	44	△4	10
調整額	売上高	—	—	0	0	0
	営業利益	△84	△108	△102	△18	5
計	売上高	3,096	3,195	3,258	161	62
	営業利益	72	16	22	△50	6

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2025年11月期 第2四半期末では計画通り3事業所の開設、M&Aにより1事業所増加

当初計画(通期) : 就労継続支援B型2、生活介護2、グループホーム1(7居室)、児童発達支援1
実績(第2四半期末) : 就労継続支援B型1、生活介護2、グループホーム-(-居室)、児童発達支援-

■ 福祉事業：3事業所を開設

就労継続支援B型 1事業所

- ・「パパゲーノ Work & Recovery 用賀」(3月)

生活介護 2事業所

- ・「アプリケアワークス蘇我」(2月)
- ・「アプリケアワークス上福岡駅西口」(5月)

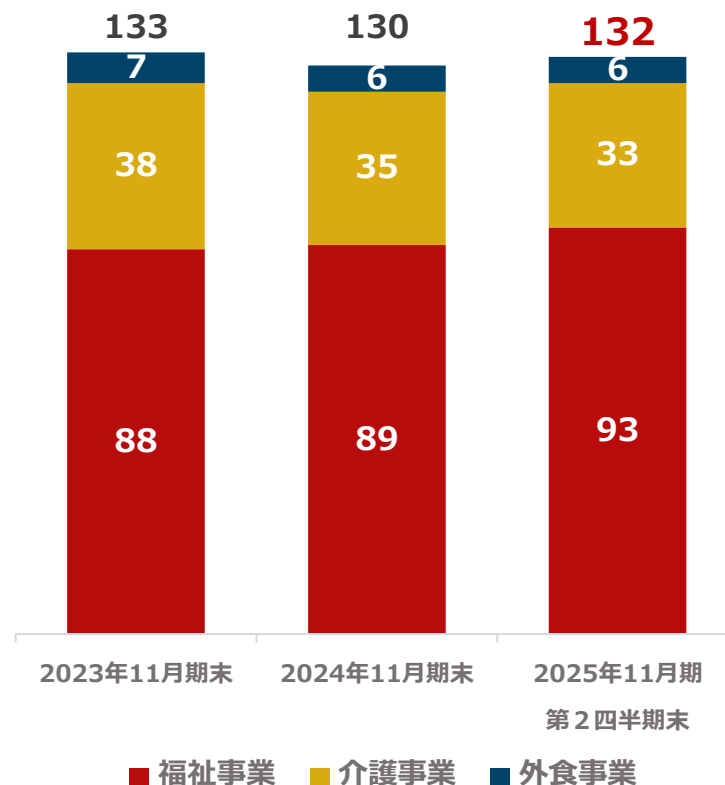
■ 福祉事業：M&Aにより1事業所を取得

就労継続支援B型 1事業所

- ・「パパゲーノ Work & Recovery 八幡山」(12月)

※介護事業：1事業所閉鎖、1事業所 事業譲渡

事業所数の推移



(単位：百万円)

	2024年11月期実績	2025年11月期 第2四半期実績	前期比 増減額
流動資産	3,568	3,655	86
固定資産	2,229	2,318	88
(有形固定資産)	1,239	1,246	7
(無形固定資産)	303	387	83
(投資その他の資産)	686	684	△2
総資産	5,798	5,973	175
負債	4,593	4,749	156
(流動負債)	1,251	1,410	158
(固定負債)	3,341	3,339	△2
純資産	1,204	1,224	19

■ 流動資産の増減要因

- 現金及び預金の増加(+16百万円)
- 売掛金の増加(+58百万円)

■ 固定資産の増減要因

- のれんの増加(+83百万円)

■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+117百万円)
- 買掛金の増加(+23百万円)

■ 純資産の増減要因

- 譲渡制限付株式報酬による新株の発行(+26百万円)



(単位：百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計 実績	2025年11月期 第2四半期累計 実績
税金等調整前当期純利益	93	38
営業活動によるC F	184	39
有形固定資産の取得による支出	△68	△55
投資有価証券の取得による支出	△77	—
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△87
投資活動によるC F	△139	△100
長期借入れによる収入	300	400
長期借入金の返済による支出	△241	△301
自己株式の取得による支出	△19	—
配当金の支払額	—	△20
財務活動によるC F	38	76
現金及び現金同等物の増減額	84	16
現金及び現金同等物の期首残高	2,047	2,419
現金及び現金同等物の期末残高	2,131	2,435



1	2025年11月期 第2四半期実績		3P
2	2025年11月期 通期業績予想		14P
3	2025年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		25P



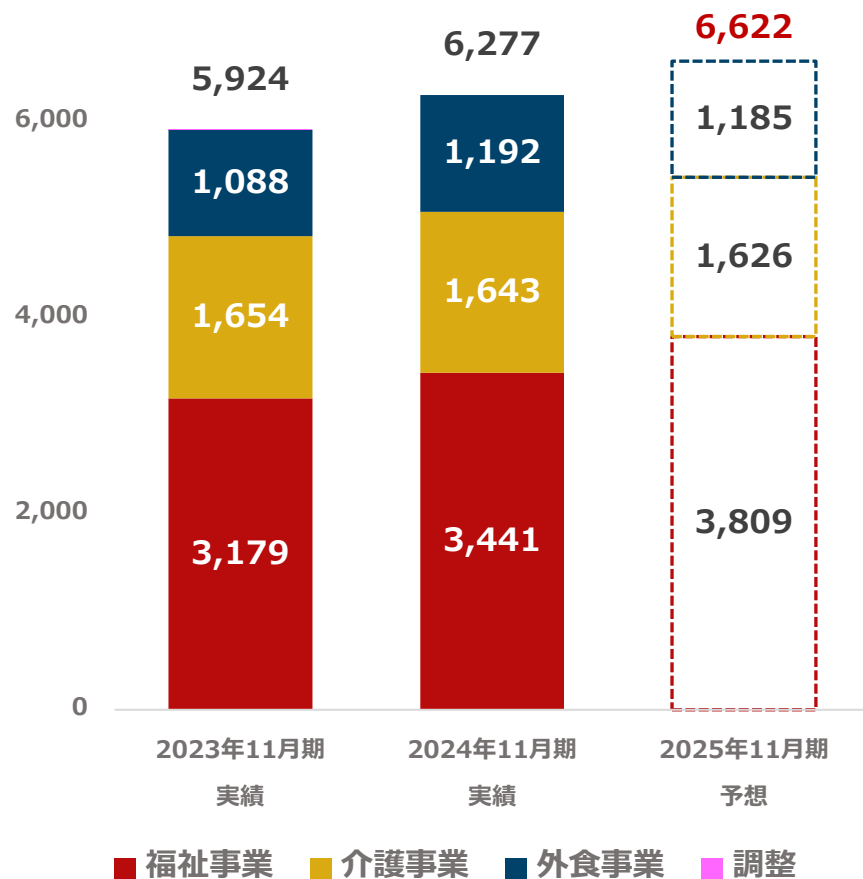
- 新規開設費用や物価の高騰による売上原価・販管費の影響はあるものの、福祉事業・外食事業の売上高は好調に推移していることから業績予想は据え置きとした

(単位：百万円)

	2025年11月期 第2四半期累計実績 (2024/12～2025/05)	2025年11月期 予想 (2024/12～2025/11)	進捗率
	金額	金額	
売上高	3,258	6,622	49.2%
営業利益	22	172	13.0%
経常利益	38	163	23.7%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	14	110	12.7%

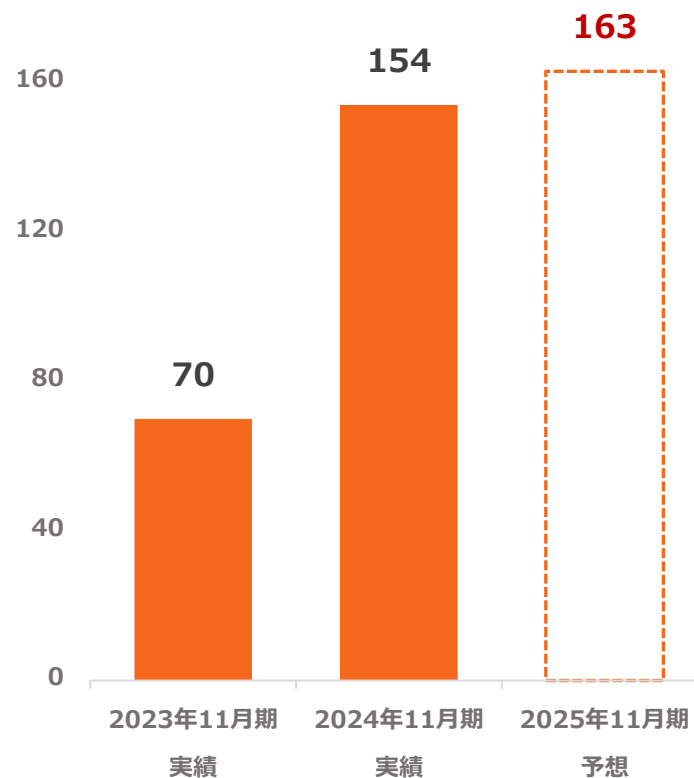
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



- 概ね予想通りの推移をしており、福祉・外食事業を中心にすべての事業セグメントが利益に貢献するものと予想

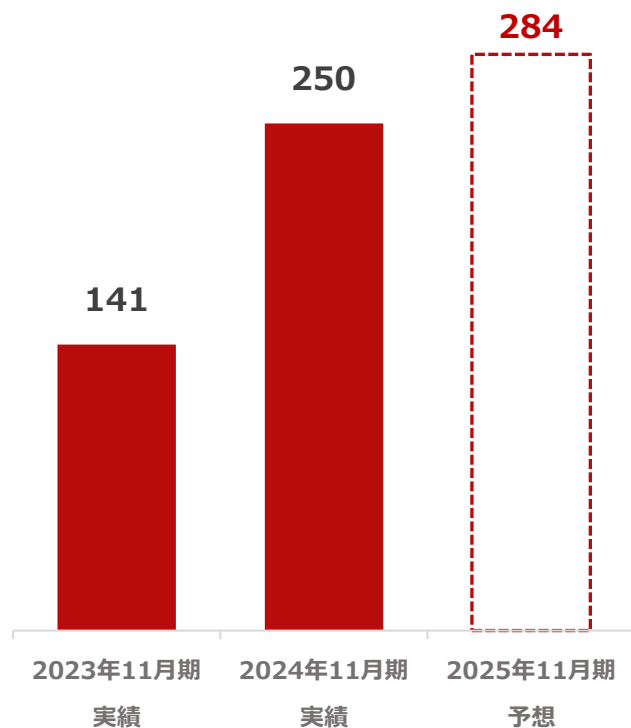
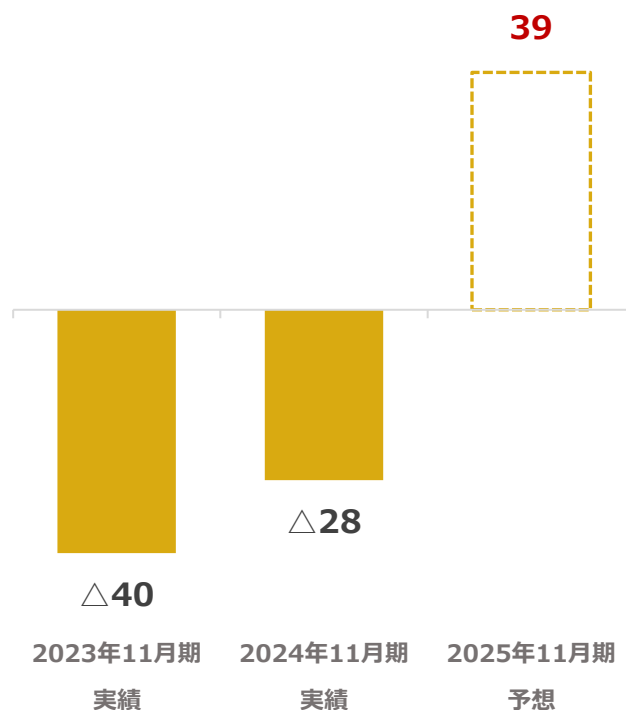
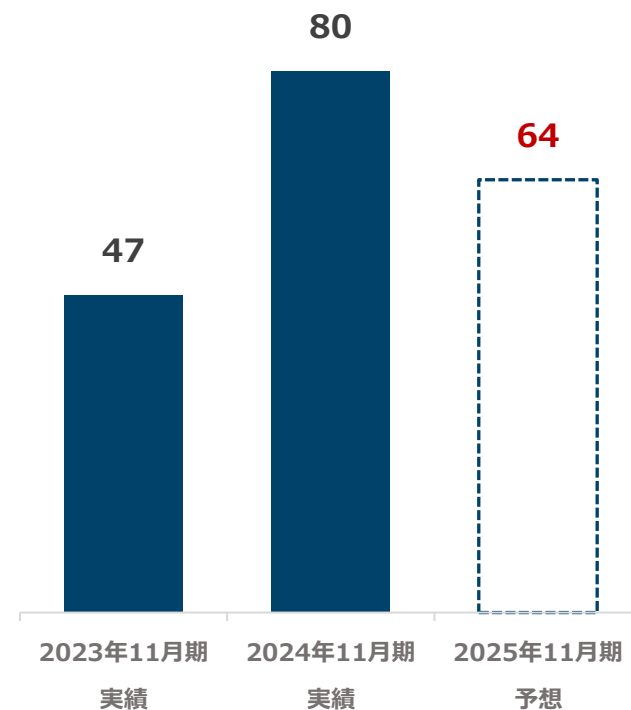
(単位：百万円)

		2025年11月期 第2四半期累計 実績 (2024/12～2025/05)	2025年11月期 予想 (2024/12～2025/11)	進捗率
		金額	金額	
福祉事業	売上高	1,826	3,809	48.0%
	営業利益	104	284	36.8%
介護事業	売上高	771	1,626	47.4%
	営業利益	△24	39	—
外食事業	売上高	659	1,185	55.7%
	営業利益	44	64	69.6%
調整額	売上高	0	—	—
	営業利益	△102	△216	—
計	売上高	3,258	6,622	49.2%
	営業利益	22	172	13.0%

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



(単位：百万円)

福祉事業介護事業外食事業

2025年11月期は合計7事業所の開設計画へ変更

当初計画：就労継続支援B型2、生活介護2、グループホーム1、児童発達支援1

修正計画：就労継続支援B型1、生活介護3、グループホーム2、児童発達支援1

事業所数の推移

■ 福祉事業：7事業所の開設計画

就労継続支援B型 1事業所

- ・「パパゲーノ Work & Recovery 用賀」開設済

生活介護 3事業所

- ・「アプリケアワークス蘇我」開設済
- ・「アプリケアワークス上福岡駅西口」開設済
- ・「アプリケアワークス亀山」開設済(6月)

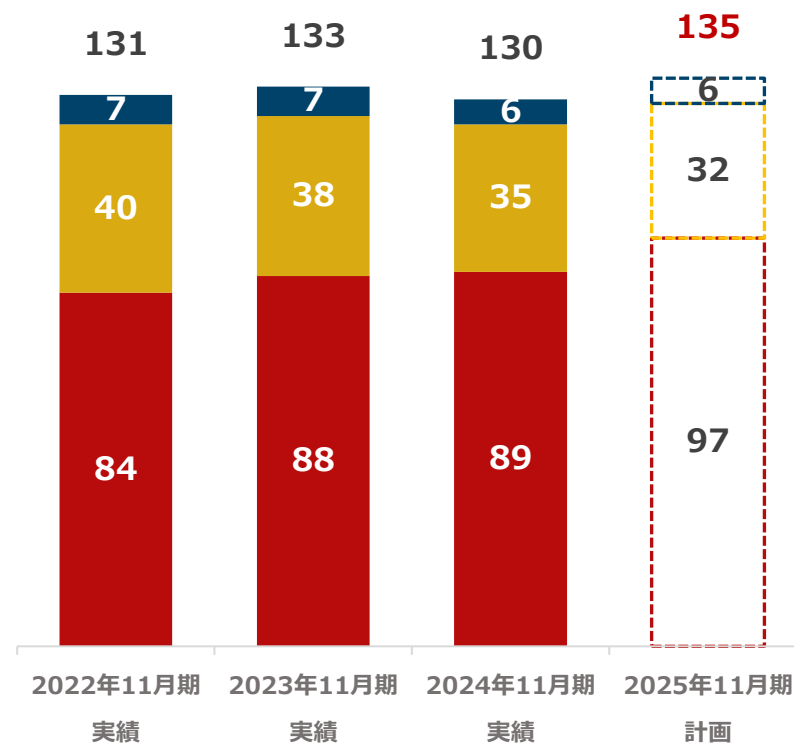
共同生活援助（グループホーム） 2事業所

- ・「ビートル桑名大山田」
- ・「ビートル藤沢本町2号館」

児童発達支援 1事業所

- ・「アプリキッズ四日市小古曽」

※介護事業：1事業所閉鎖、1事業所 事業譲渡



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業



1	2025年11月期 第2四半期実績		3P
2	2025年11月期 通期業績予想		14P
3	2025年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		25P

■ 事業所の新規開設

➤ 就労継続支援B型 1 事業所、生活介護 3 事業所を開設済

就労継続支援B型



パパゲーノ Work & Recovery 用賀
2025年3月 オープン

パパゲーノ社の生産活動におけるITの高い専門性と、当社が培ってきた福祉事業の運営ノウハウを掛け合わせ、新たなニーズに対応できる体制を構築

一般的な就労継続支援B型事業所は1年半～2年の立ち上がり期間を要するのに対し、パパゲーノ Work&Recovery用賀では1年以内の立ち上がりを見込む

生活介護



アプリケアワークス蘇我 2025年3月 オープン

アプリケアワークス上福岡駅西口 2025年5月 オープン

アプリケアワークス亀山 2025年6月 オープン

ご利用者様の日中活動の選択肢を拡充するため、ドミナントエリア内に生活介護事業所を開設

また、日中活動と住まい（グループホーム）の両面からサポートする体制を強化し、エリア全体のサービス価値と収益性の向上を推進

➤ 今後、共同生活援助（グループホーム）を2事業所（9月・10月）、未就学児を対象とした児童発達支援事業所（10月）を開設予定

■ AI支援記録アプリ「AI支援さん」の販路開拓・拡大

製品価値の向上

当社グループ導入

当社グループでの導入を通じ、支援現場スタッフの声を反映

ITに不慣れなスタッフでも「直感的」に使用できるサービスへアップデート

販路開拓・拡大

外部での導入拡大

SNSでの製品紹介やオンライン説明会の開催を通じて、外部での導入が拡大

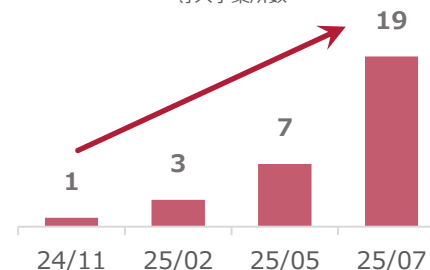
支援現場スタッフの業務オペレーションを大きく変えずに導入できる手軽さが外部への販売拡大を後押し



独自の「AI書類作成」機能

AIが自治体の様式に合わせて書類作成をできるようにアップデート

導入事業所数



■ AI支援さんとは

AIで簡単に支援記録を残せるアプリ

面談記録等の文字起こしや要約、支援記録から必要な書類をAIが自動生成



■ ITとAIを活用し業務の効率化・改革を推進

ITを活用した業務効率化

課題	多拠点・多事業を展開する中で、本社－現場間の連携に重複作業が発生し、非効率な業務プロセスが存在
取組	アナログ作業となっている売掛管理をITを活用し自動化、重複作業を解決に向けて着手

AI活用の推進

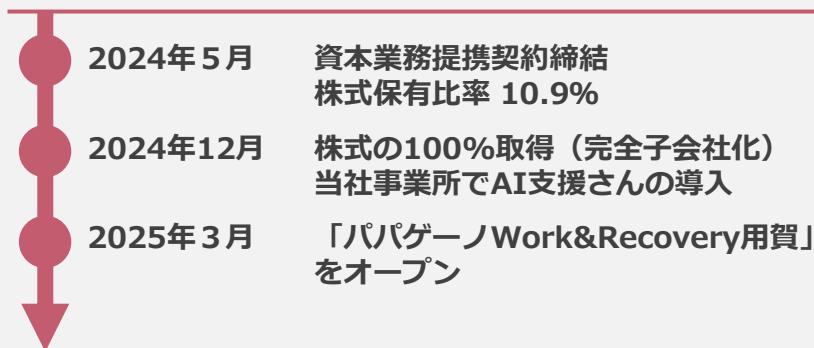
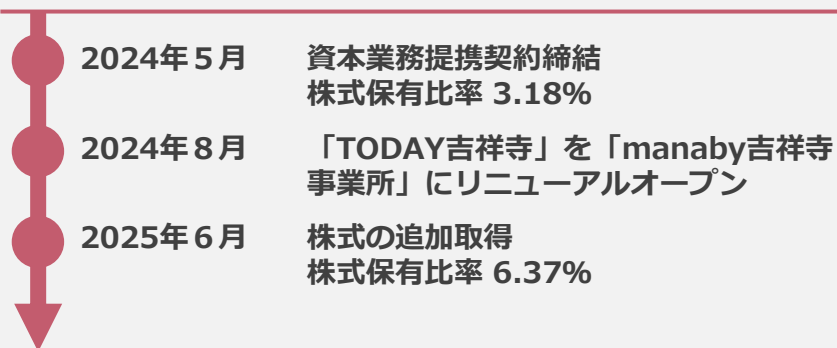
課題	現場では自治体ごとに異なる様式をアナログで資料を作成 重複する問い合わせ対応
取組	現場で「AI支援さん」を導入し、従業員の業務負担を減少 ご利用者様向けの問い合わせに対応したAIチャットボットを設置

今後の展望

社内データの蓄積と全社的な利活用環境の構築

- 分断された社内データを統合管理するためのデータベース構築
- 業務オペレーションの自動化・効率化
- 従業員の生産性向上・業務負担の軽減

■ 株式会社manaby・株式会社パパゲーノとの業務提携の進捗



今後の展望

ITを駆使し、障害者の就労機会・雇用の構造改革を進め、社会課題を解決

- manaby型・パパゲーノ型の就労支援業態を確立し、就労に必要な知識・スキルを習得できる場を提供
- AIを活用して障害者も活躍できる環境を構築
- 障害者雇用を創出するパッケージを開発

1	2025年11月期 第2四半期実績		3P
2	2025年11月期 通期業績予想		14P
3	2025年11月期 主要取組事項		20P
4	補足資料（会社・事業概要）		25P





当社グループは
社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	67,161千円 (2025年5月31日現在)
従業員人数	489人 (2025年5月31日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社（連結子会社）

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)
- 株式会社 パパゲーノ (福祉事業所の運営・DX支援)
※2024年12月1日～



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要

《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害がある未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供

《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病がある方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援

《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害のある方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供

《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供

障害がある方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施

《生活介護》

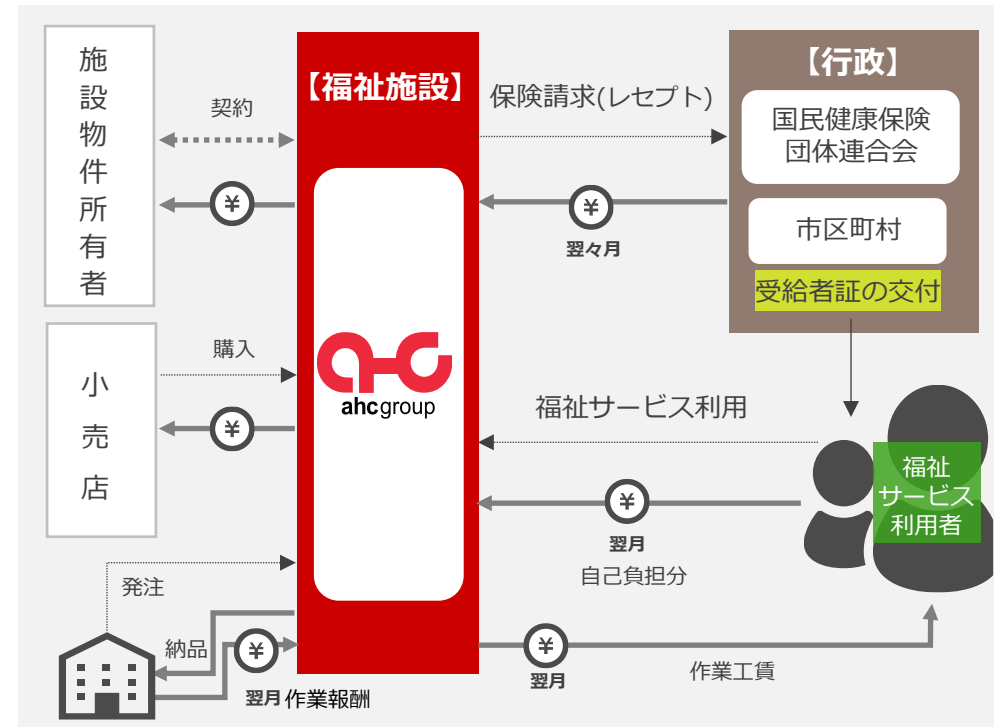
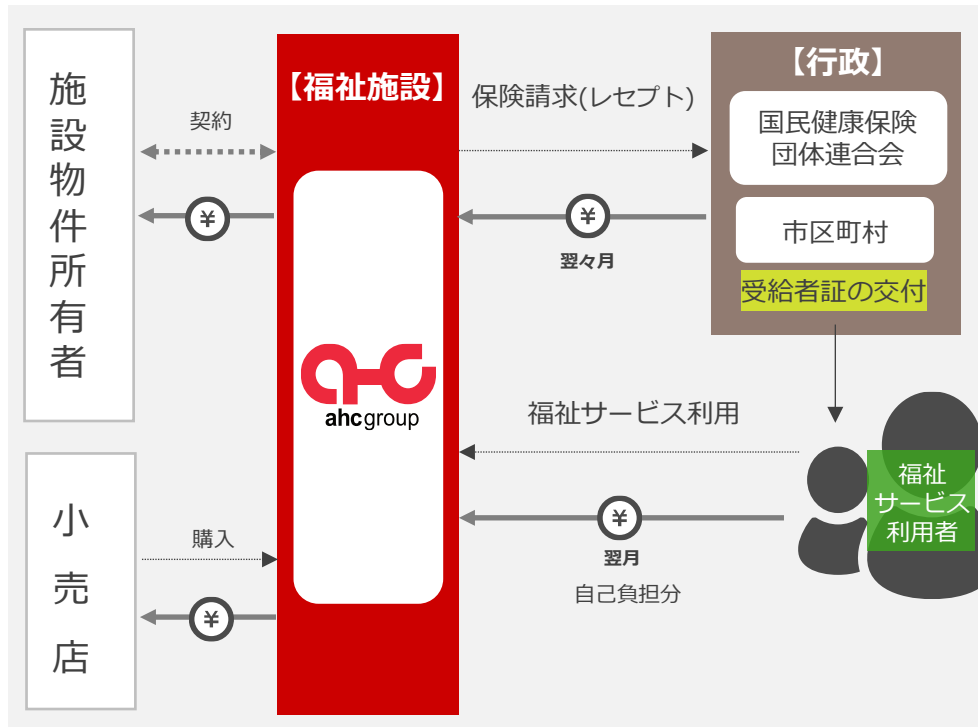
介護を必要とする障害のある方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施

福祉事業

福祉事業の多くは9割の公費と約1割の利用者負担額で売上高が構成

放課後等デイサービス・児童発達支援・就労移行支援・
生活介護・共同生活援助(グループホーム)

就労継続支援B型



地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要

《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供

《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施

《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供

《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施

《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス

介護事業

利用者から一部負担金を受領し、差額は
都道府県や市区町村等の行政機関から
国保連を通じて報酬を受領

※ケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、サービスを提供



9～7割＝公費

1～3割＝利用者負担

※条件により異なる



働く世代をメインターゲットとした店舗を展開

外食事業：業態別概要

《ねぎま三ぞう》

30代～40代のサラリーマン層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態

《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

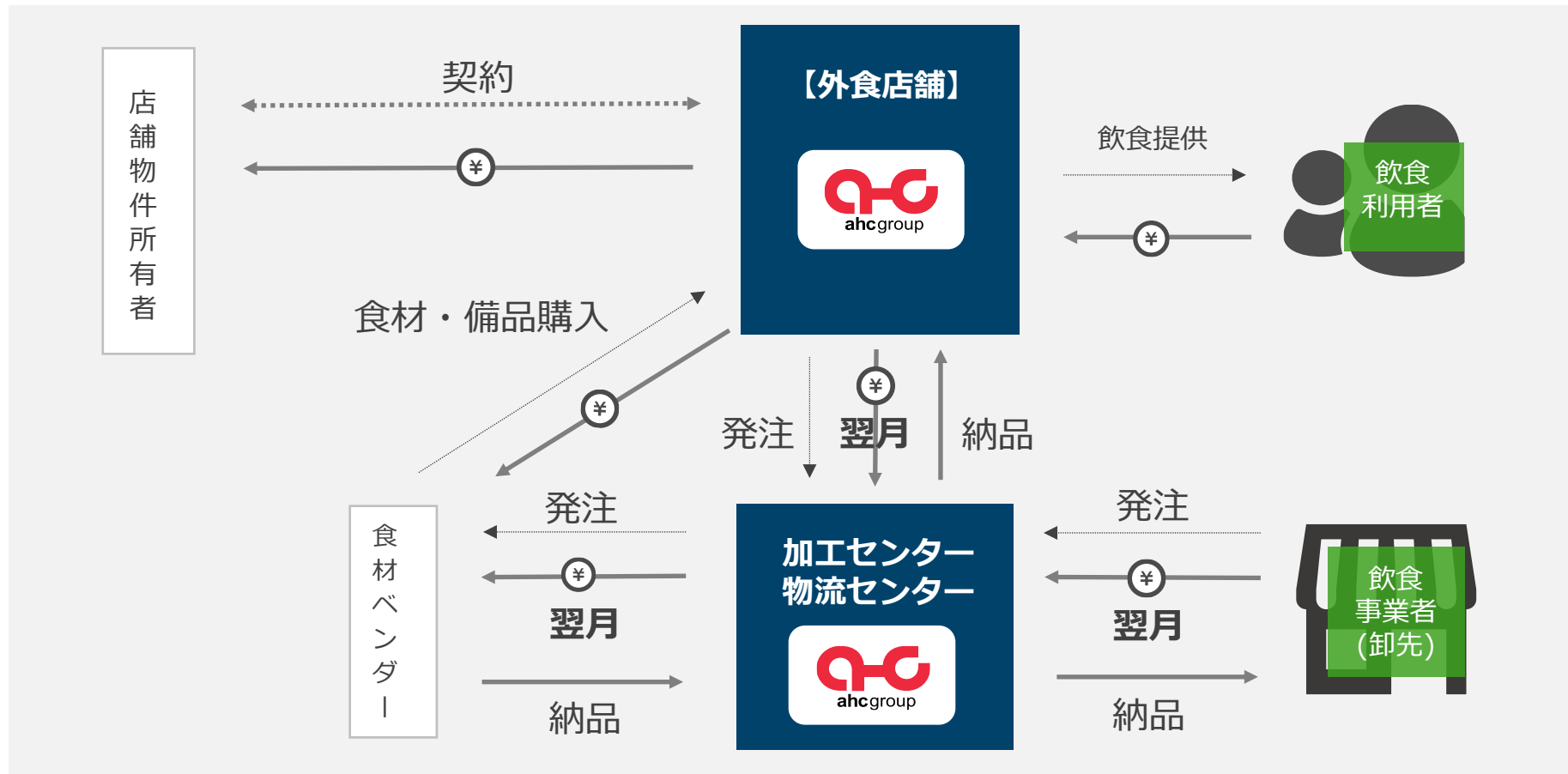
20～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態

《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応

外食事業

飲食利用者、飲食事業者への販売を中心とした事業



■ 株式会社パパゲーノの「AI支援さん」を活用したDX事例が、政府の推進する新しい資本主義実現会議「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」の2025年改訂版において障害福祉分野における優良事例として取り上げられました

株式会社パパゲーノ（東京都）

主なサービス種別：就労継続支援B型

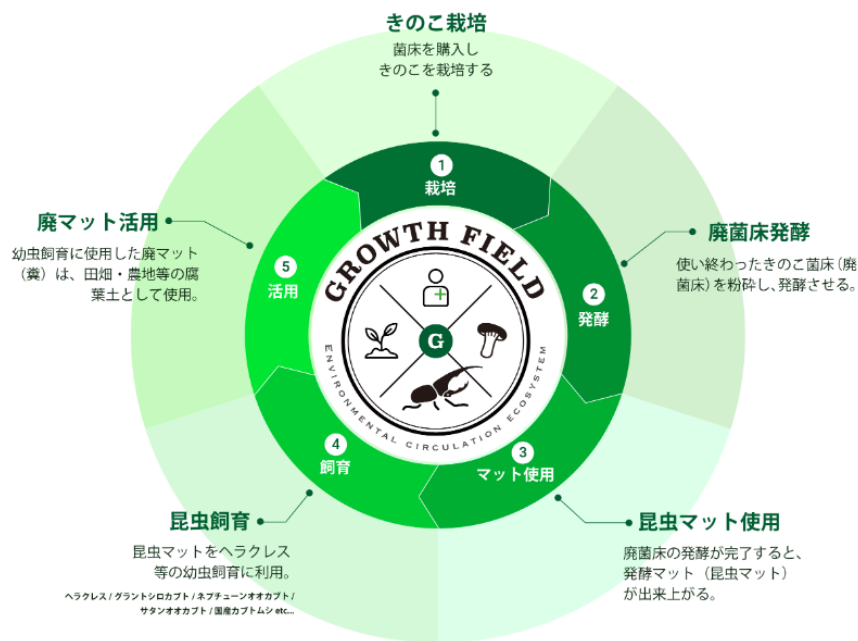
- ICT活用により、精神障害者や発達障害者の強みや希望（リカバリー）に焦点を当てた就労支援を実施
- 生成AIを脳の機能障害を補う「社会資源」として活用し、環境調整により障害当事者が自分でできることを増やす事例を創出。
- 支援現場のDXにもAIを活用し、障害福祉施設に向けたアプリを開発してAI導入を支援。

障害のある方の生成AI活用事例	支援者の生成AI活用事例
○ 解離性同一性障害や学習障害で漢字が理解しにくい方が、作業画面やマニュアルをひらがなに変換して働く。 ○ 確認不安が強く何度も質問を繰り返し作業が進まなかった方が、AI支援員で疑問を解消し活躍できるようになる。 ○ 業界の知識が全くない方が、企業向けのメルマガを作成し、ABテストの結果を踏まえ改善していけるようになる。 ○ 長文を読むのが苦手な方が、企業の広報担当が書いたプレスリリースに改善提案をできるようになる。 ○ デザイン初学者が、デザイン4原則と基礎的なデザインソフトの使い方を学び、AIに壁打ちしながら広告デザインをできるようになる。 ○ プログラミング初学者の方が、自分の生活リズムを整えるための専用アプリを自分で開発できるようになる。 ○ パソコン初学者の方が、生成AIを用いてオリジナルの絵本を制作できるようになる。	○ 業務のマニュアルを読み込ませて「AI支援員」を作ること、簡単な質問対応はAIに任せて個別支援に集中できるようになる。 ○ 新たな挑戦のアクセシビリティを高め、生成AIにより合理的配慮の範囲を拡張できるようになる。 ○ 面談や電話、ケース会議の音声を録音するだけで支援記録が自動生成できるようになる。 ○ 記録作業の時間をなくすことで、面談やソーシャルスキルトレーニング等の時間を増やすことができるようになる。 ○ 面談記録が即時作成することで、相談室で話していた内容をリアルタイムに全てのスタッフが把握してその日の支援に生かすことができる。 ○ 日報、打刻（勤怠）、体調、NPSをまとめた月次報告書を生成し支援のPDCAを回すことができるようになる。 ○ 膨大なデータから利用者のニーズをより深く理解し、的確なアセスメントと支援方針の提案ができるようになる。

出展：内閣官房 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改定版
省力化投資促進プラン_障害福祉「省力化投資促進プラン－障害福祉－」

持続可能な社会への貢献を目指す環境循環型モデル事業

- ①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこ栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する
- ②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)



「きのこハウス」 (菌床椎茸の栽培・販売)



「ヘラクレスデザインラボ」 (ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売)



施設外就労 作業工賃

就労継続支援N型事業所
+today

AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

マテリアリティ

取り組みテーマ

Environment
(環境)

環境負荷の低減



- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social
(社会)

健康的な生活環境の提供



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

働きがいのある職場の提供



- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

質の高い教育の場の提供



- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

差別のない公平な社会の実現



- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

Governance
(ガバナンス)

ガバナンス体制の強化



- 持続可能な経営基盤構築の推進



配当政策の基本方針

中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な利益還元を業績に応じて適正に行う

1株当たり配当

(連結)	中間	期末	通期
2024年11月期	-	10円	10円
2025年11月期 (予想)	-	12円	12円

自己株式取得：経営環境の変化を考慮しながら、今後も継続的に取得を検討・実施



関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

